

令和5年6月9日(金)

時間を守る

他人から信頼されるために最も大切なことは、約束した時間を守ることです。時間を守らないと、それだけで相手の信頼を失います。一旦失った信頼を、あとから取り返すのはかなり難しいことです。

人によって価値観や考え方は違うように、時間に対する感覚も人によって大きく異なります。時間に遅れても、許してくれる人もいれば、1分1秒にこだわり、遅れることを許さない人もいます。世の中の人全員が皆さんと同じ時間感覚の持ち主だとは限りません。

さて、明日6月10日は時の記念日です。『日本書紀』には、天智(てんじ)天皇が、中大兄皇子時代の660年に漏刻(ろうこく)という水時計を作り、671年に大津宮(おおつのみや)の新台に置いて鐘や太鼓を打ち人びとに時を知らせたと書かれています。その記載に基づき、その日を太陽暦に換算し、6月10日を「時の記念日」とすることが定められました。

「時間を守ること」が大切なのは、今も昔も変わりません。我が喜入町の近く南九州市颯娃町には、釜蓋神社とも称される射楯兵主(いたてつわものぬし)神社があります。開聞岳の麓で生まれ、宮中に入るも戻ってきた大宮姫(おおみやひめ)、そしてそれを追ってきた天智天皇が御巡幸(ごじゅんこう)されたとの伝説が残されています。天智天皇と言えば、天智天皇を祀っている近江神宮(おうみじんぐう)と当時の文部省とが、時間を大切にすることの教育的意義を重視し、大正9年に6月10日を「時の記念日」として制定したことで知られています。また、天智天皇が指宿の地名を名づけたことでも知られています。

このように、時間を守ることの始まりと、天智天皇は関係があります。天智天皇と南薩も関係があります。私はきっと天智天皇は喜入の地も通られたと考えています。今日の「時の記念日」をきっかけとして、遅刻はもちろんのこと、時間ギリギリの登校が無いようにしましょう。そして、授業開始時刻2分前には余裕をもって着席し、1分前黙想をして授業が始められるようにしましょう。

今年になってから、遅刻する生徒が減ってきていると感じています。2分前着席も、1分前黙想も喜入中全員が「やればできる」と思っています。